

VISUALIZE THE FUTURE



第13回 定時株主総会

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル

2015年6月23日

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

1

中期経営計画 (2014年3月期～2019年3月期)

2

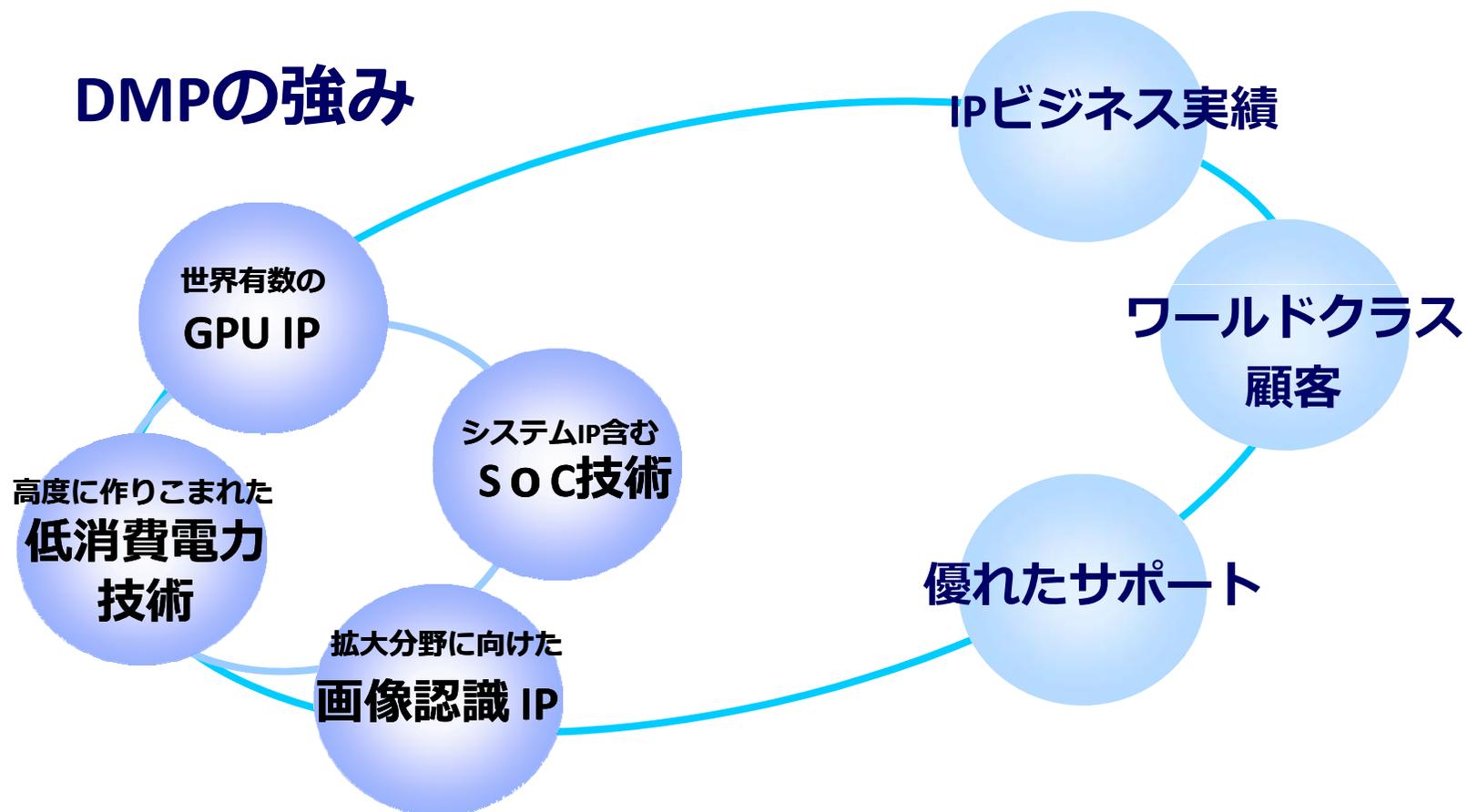
2016年3月期 通期業績予想

ビジュアル・コンピューティング*分野の ワンストップ・ソリューション・プロバイダーになる

*ビジュアル・コンピューティング：

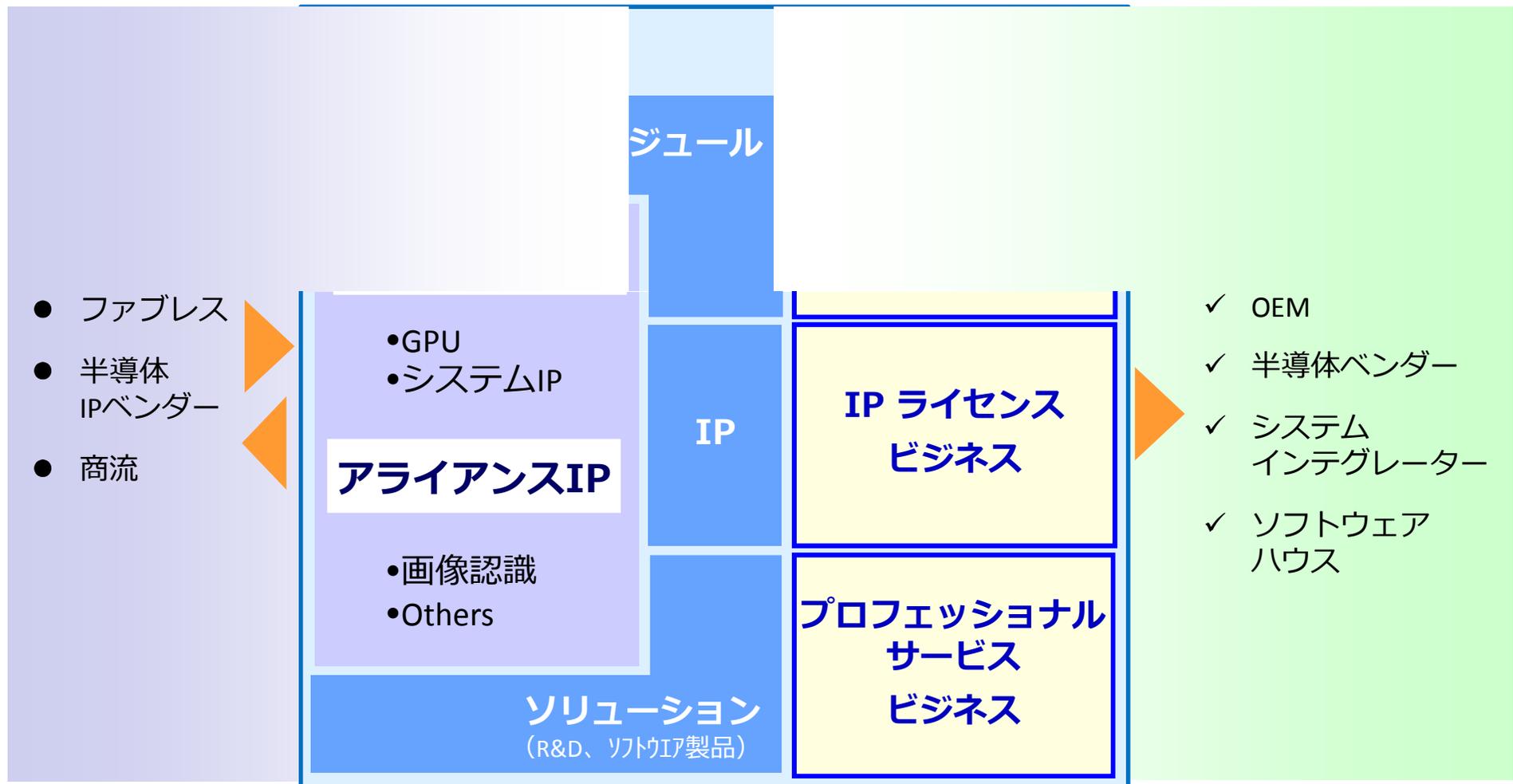
グラフィックスないしは画像を介して行うコンピュータ処理総称

DMPの高い付加価値をもたらす半導体の中核技術とビジネス実績



事業構造 経営資源と事業領域

独自のIPポートフォリオで、特徴のある製品・ライセンス・サービスを提供



強みをフル活用できる「3つの柱」で成長への基盤を構築

製品 ビジネス

自社IPを生かした競争力のあるSoCとソリューションの提供

- 強みを生かし「勝てる分野」でビジネス立ち上げ
- SoC/モジュール提供によるビジネス規模拡大

IP ライセンス ビジネス

成長分野で新規ビジネスを創出

- ビジュアルコンピューティング分野にフォーカス
- ポートフォリオ拡充、提案力強化

プロフェッショナル サービス ビジネス

高い技術力の提供とともに新たな分野開拓への要とする

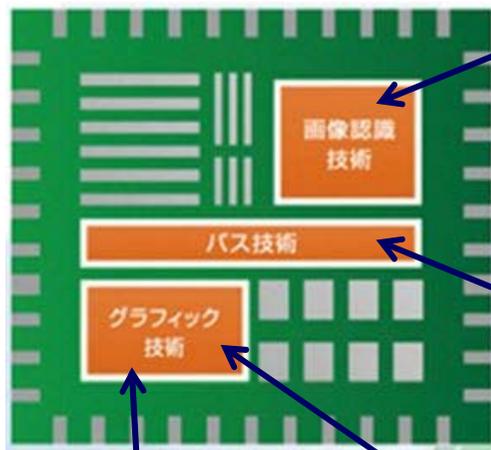
- GPU/ビジョン技術(自社/他社)をベースとした高付加価値サービスの構築
- R & Dの強化

体制・ コーポレート

アライアンスにより経営資源を強化

(商流・半導体開発・IP外部導入のパートナー)

低消費電力・高性能が実証された業界最先端のIPを提供



APEXシリーズ

画像認識プロセッサIP

- ・ Computer Vision用、高性能低消費電力プロセッサ
- ・ 人検出、顔認識、ジェスチャー認識等アルゴリズムライブラリを整備



Loputoシステムシリーズ

SoCインターコネクトIP

- ・ 対応バスプロトコル：AMBA AXI, OCP, ACE I/Fサポート
- ・ マルチレイヤー構成による低レイテンシ、QoSをサポート

DDRメモリコントローラIP

- ・ DDR1/2/3/4, LPDDR1/2/3サポート
- ・ SoCインターフェース：AXI, OCP / DDR PHY インターフェース (DFI)

antシリーズ

UI Drowing Engine IPコア

- ・ 0.5×0.5mm 世界最小コアサイズ
- ・ 低消費電力、高い描画性能、歪み補正



SMAPHシリーズ

3DグラフィックスIPコア

- ・ Khronos最新規格：OpenGL ES 3.0対応
- ・ DMP独自拡張機能 MAESTRO



2DグラフィックスIPコア

- ・ Khronos最新規格：OpenVG1.1対応
- ・ 業界最小のIPコアサイズでフォント、地図、アイコン等のベクターデータのコンテンツを高速描画



成長するビジュアル・コンピューティング市場へフォーカス



ゲーム



画像認識



ユーザー
インターフェイス



自動車運転支援



コネクテッド・ホーム



モバイル・ビジョン



ウェアラブル・
コンピューティング



セキュリティー



ロボット/FA



医療



フェーズ2

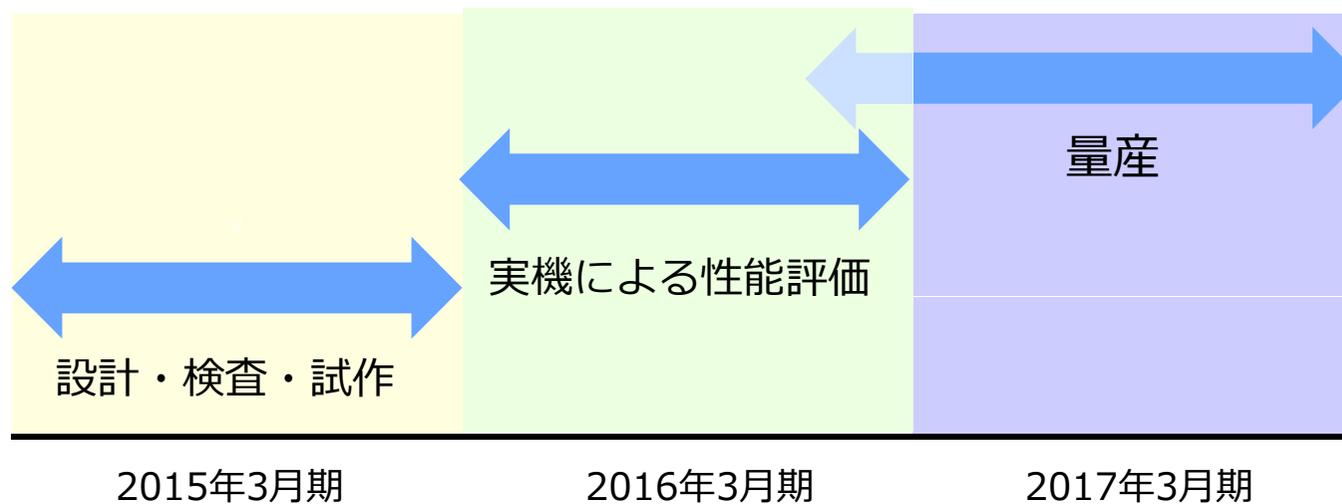
成長するIoT分野へ拡大

ウェアラブル/自動車/ホーム/産業/家電などで
高度な画像処理を実現する製品

フェーズ1

「勝てる市場」で
SoCビジネス基盤確立

実機による性能評価段階に入り、量産体制構築に向け進捗。



- ✓ 2015年3月期 : 試作チップが完成
- ✓ 2016年3月期 : 実機による性能評価の段階に進行
- 2017年3月期 : 量産体制構築し、売上に貢献

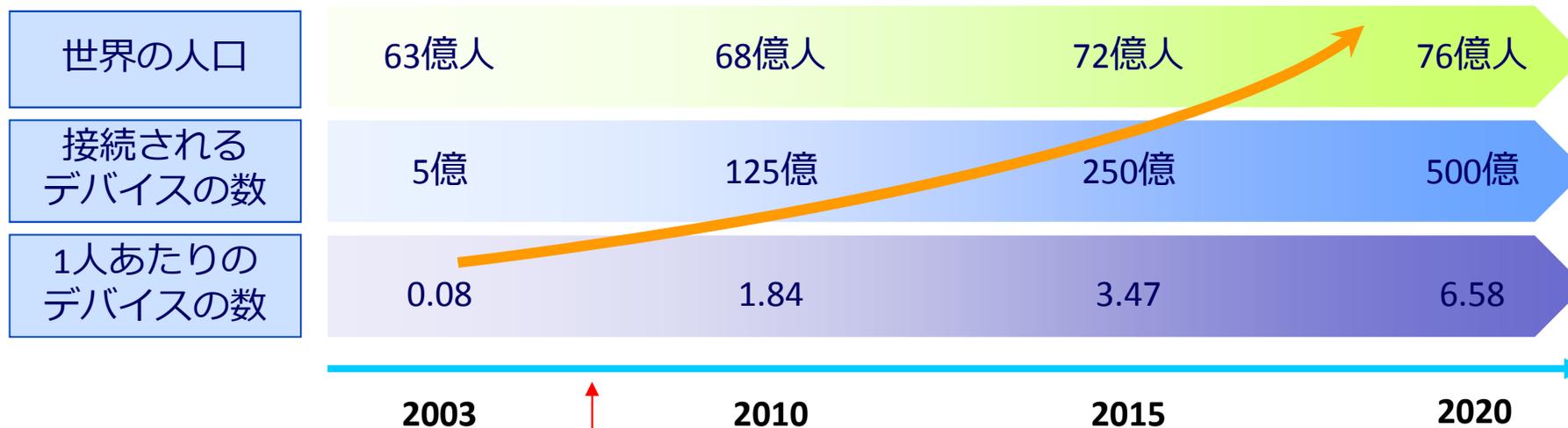
I o T (*) ➡ 日本企業が強い分野で成長



* I o T (Internet of Things) :

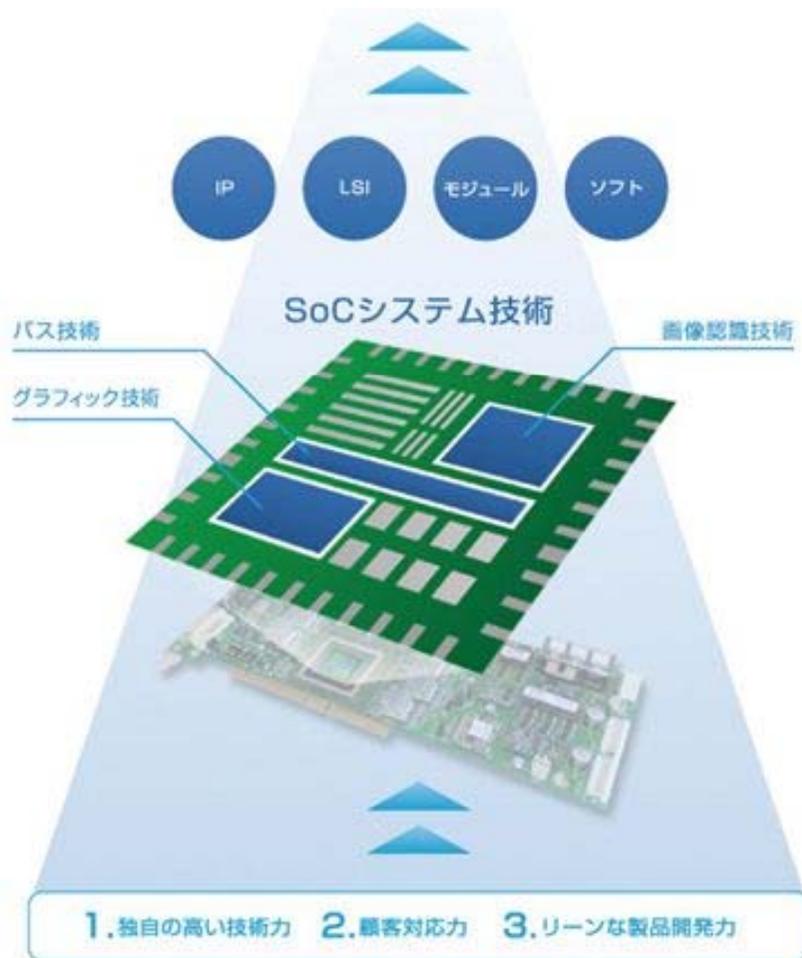
PC、スマホ・タブレット、ゲーム機といった情報通信機器にとどまらず、社会で利用される様々なモノに通信機能を持たせ、インターネットに接続したり、相互に通信することにより、自動認識、自動制御、遠隔計測などが行われること。

I o Tの到来 (出典：Cisco IBSG.2011)



インターネットに接続されるデバイス数が、世界人口を超える

ビジュアル・コンピューティング分野



● 付加価値の高いIPコア

- ヘテロジニアスな処理環境を実現する高度なプロセッサIP (GPGPU/画像認識)
- 低消費電力で最高のシステム性能を実現するSystem IP
- IP性能を引き出す最適化されたソフトウェアツール群

● DMP IPによる差異化されたSoC/モジュール

● プロフェッショナルサービス

- アルゴリズム
- ベンチマーク、最適化
- アプリケーション開発
- 検証

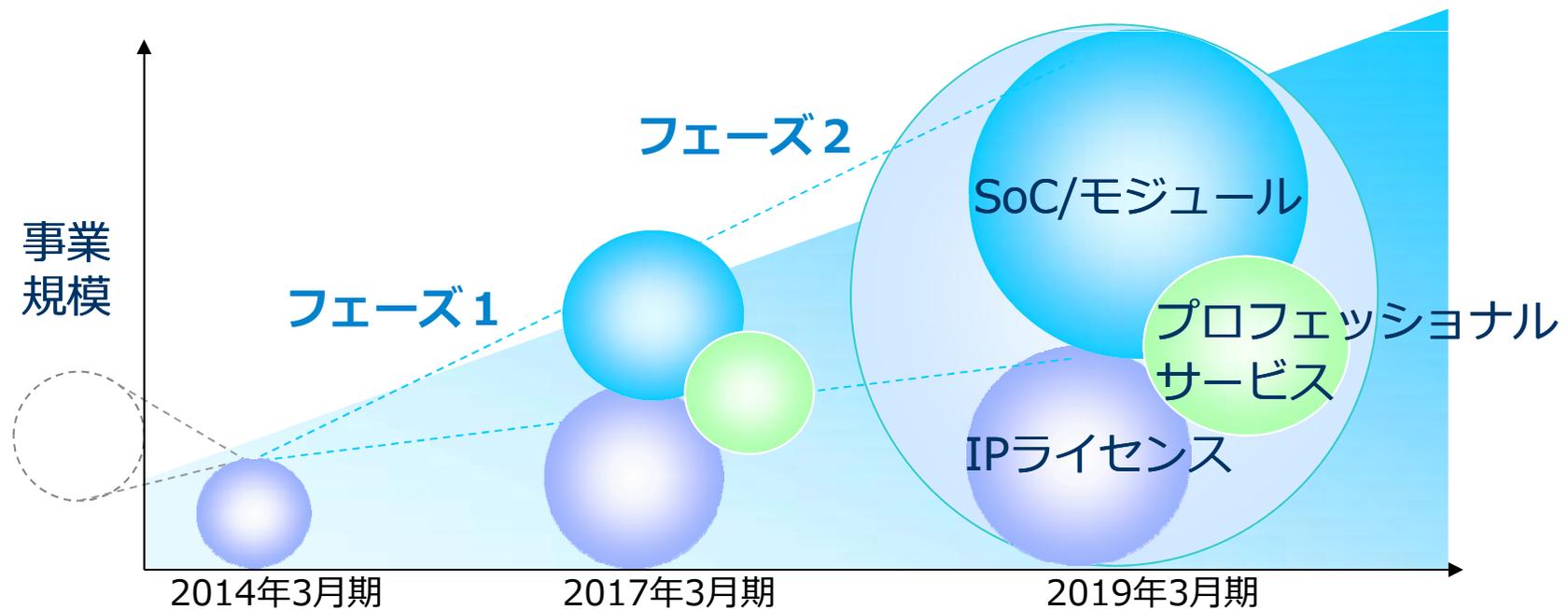
強み、競争優位性を活かした今後の展望

フェーズ1

- SoCの開発
：「勝てる」分野での製品開発
- IPポートフォリオの拡充
：画像処理分野への進出
- プロフェッショナルサービス立ち上げ

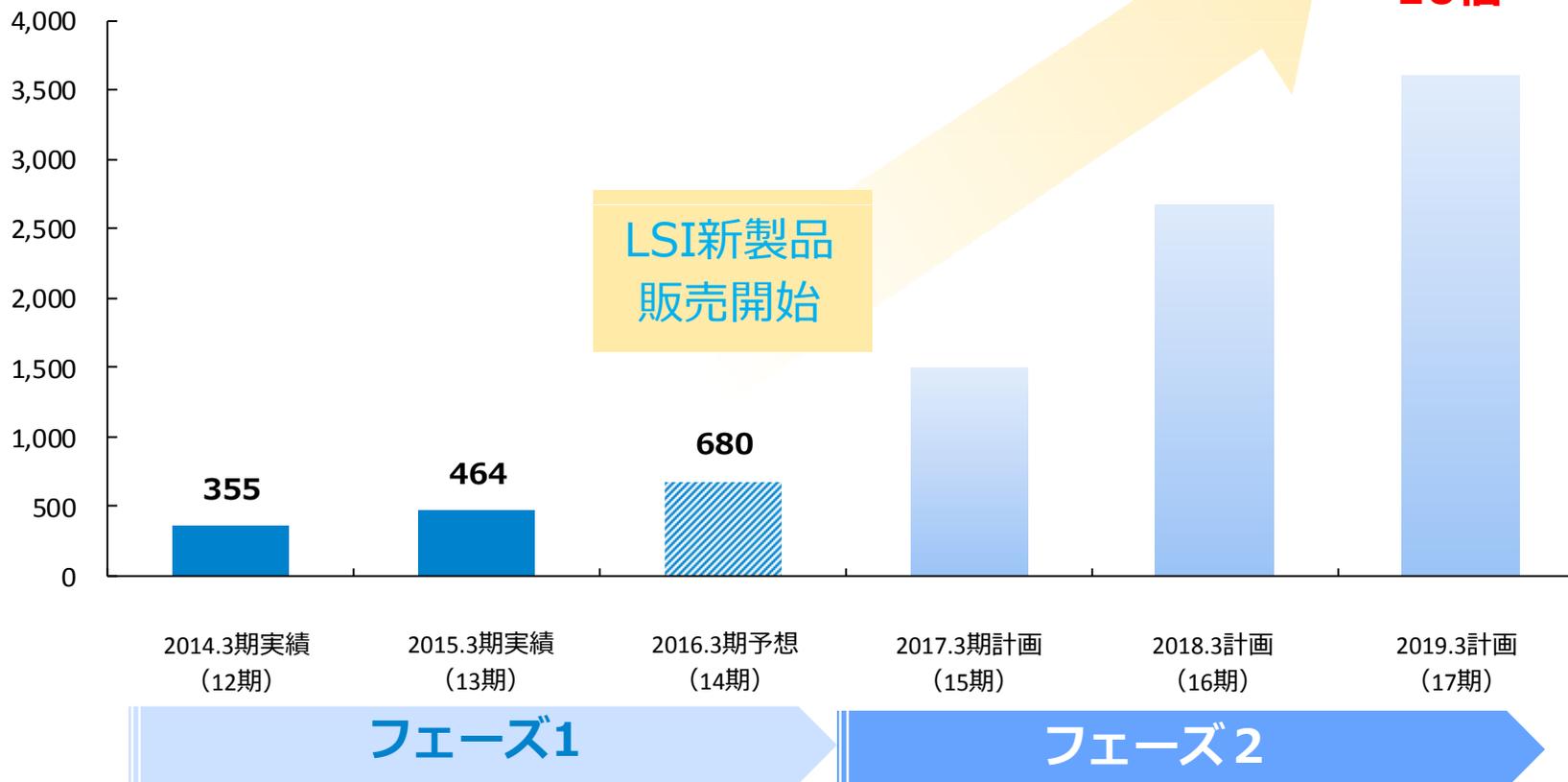
フェーズ2

- ワンストップソリューションの提供
- IPポートフォリオの拡充
- IoTに関連したサービスビジネス



IPライセンス事業の拡充、プロフェッショナルサービス立ち上げ + SoC開発、拡販により事業を構築・拡大

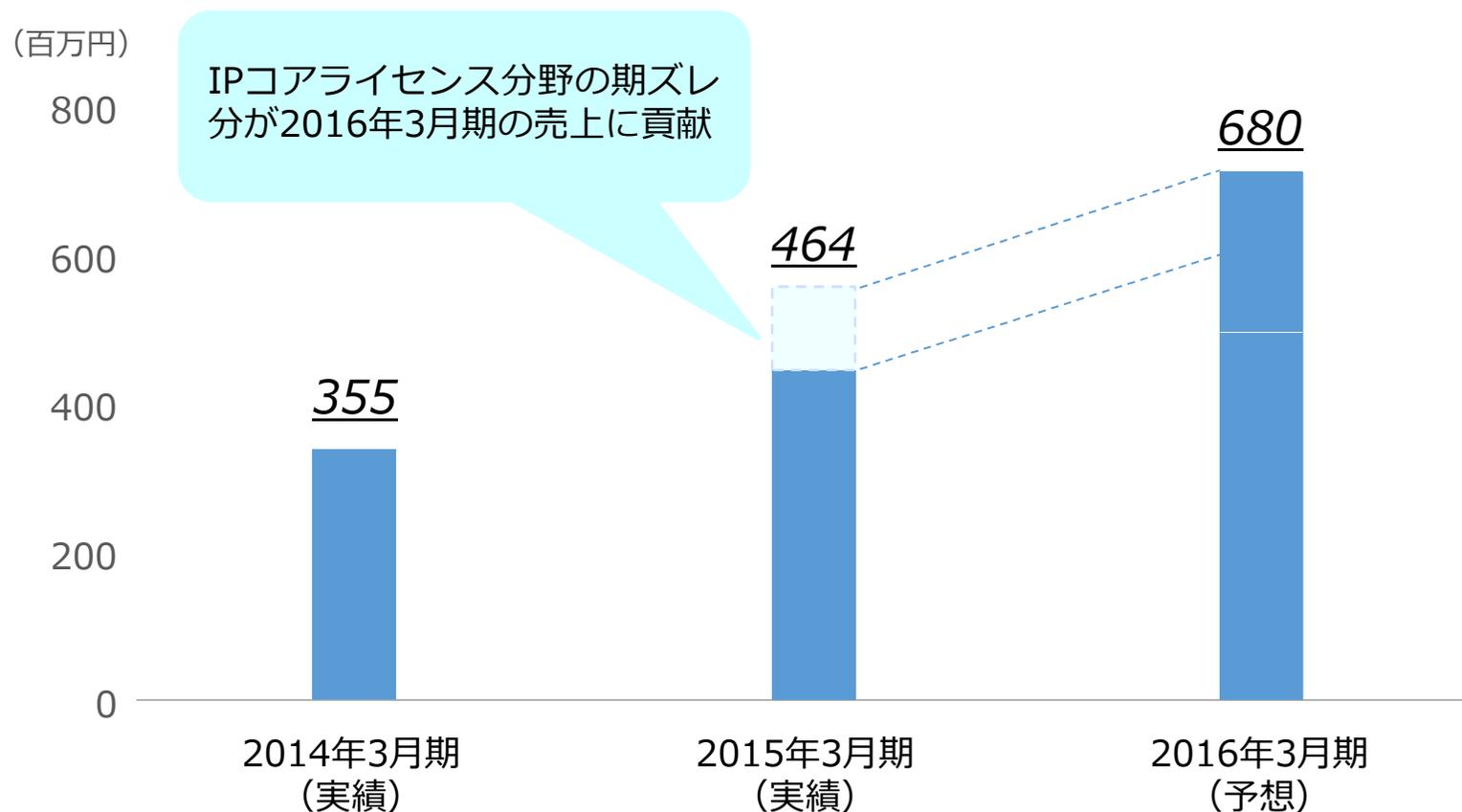
(単位：百万円)



1 中期経営計画 (2014年3月期～2019年3月期)

2 2016年3月期 通期業績予想

次世代LSIを除く既存分野の拡大で売上高680百万円を達成



2016年 3月期 通期業績予想



(単位：百万円)

	2015年3月期 (実績)	2016年3月期 (予想)	前期比
売上高	464	680	46.5%
営業損失	△462	△192	—
経常損失	△265	△190	—
当期純損失	△311	△190	—

次世代LSIを除く既存分野の拡大で680百万円を達成。IPコアライセンス分野の期ズレ分も今期の売上に貢献

2016年3月期末において次世代LSIの試作チップが完成。性能評価を経て、量産出荷が開始されるまで今暫く時間を要するため、現時点では当期の業績予想として未計上

売上面

売上高

- I P コアライセンス分野で発生した期ズレ分に加え、I P コアの販売拡大により、ライセンス収入の増加を見込む。
- 自動車関連・セキュリティ・医療分野等のサービスビジネスに注力し、プロフェッショナルサービス分野の拡大を図る。
- 次世代 L S I については、業績予想に織り込まず。

利益面

営業損益

- 売上高の増加により改善を見込むものの、次世代 L S I 開発費の一部が発生することおよび開発体制強化に伴う人件費増加のため、営業損失となる。

経常損益

- 前期までの N E D O からの助成金収入が剥落するため、営業損失とほぼ同額となる見込み。